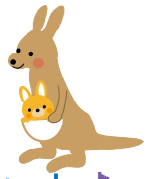




# だっこ通信

## 第28号

2022. 11月発行



だ いじょうぶ ・ つ ながる ・ こ そだて



### あるある話「あっ危ない！」 ヒヤリ ハット

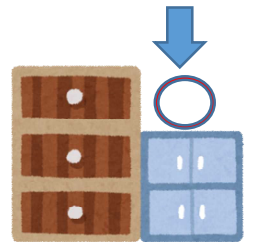
子どもは突発的に予想外のことをすることがあります。お散歩中にいきなり何かを見つけて走りだしたり、目を離した隙に階段を上ってしまったり……。家の中にも思わぬ危険が潜んでいます。机に置いておいたハサミをさわってみたり、落ちているボタンを口に入れようとしたり……。

「〇〇は熱い」「ケガをする」「のどにつまる」など、目からの情報だけでその危険性に気付けない年頃は、手や口がセンサーとなって「硬さ・柔らかさ」「熱さ・冷たさ」などを確かめています。



**子どもの目線に立ってみると身の回りには危険がいっぱい!**

上の方に置く



### ★本日のお題 想像力で危険を予測、事前に回避!

子どもは好奇心のかたまりです。親がスマホを見ている時も、家事をしている時も、じっとしていません。一瞬目を離したすきに大けが……。ということもあります。日頃から子どもの様子を観察し、想像力をフルに働かせましょう。危険を予測し、子どもの行動の先回りをするのが危険回避につながります。ふだんの生活の中で、今一度確認をしてみてください。

近くに危ない物があったら、移動できる物は**手の届かない場所**へ、倒れそうな物は**固定**する。  
机の上、バッグの中など、興味を示すような物の中に危ない物が無いか、**こまめに確認**する。



発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)